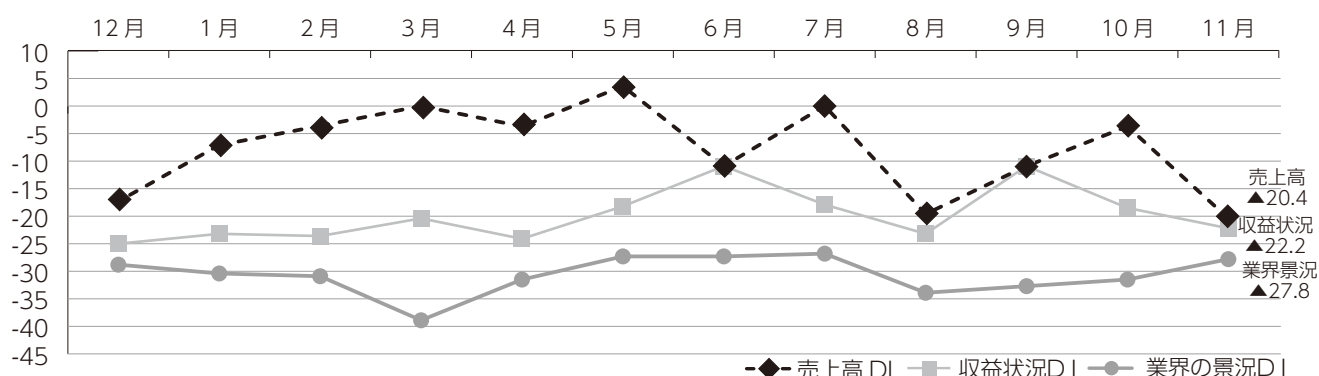


暫定税率廃止の決定が関連業種に影響を及ぼす

概況

ガソリン・軽油の暫定税率廃止の決定と段階的な補助金増額が実施され、運輸業では収益改善に繋がる期待感が見えた一方、石油関係からは高い価格で仕入れた在庫が残る中で、店頭販売価格を調整しなければならず、厳しい状況との声が聞こえた。また、設備の修繕や更新が物価高騰と相まり、経営を圧迫している。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
製造業	全業種平均									
	食料品									
	繊維製品									
	窯業・土石									
	機械・金属									
	その他									
非製造業	卸売業							—		
	小売業							—		
	商店街							—		
	サービス業		—					—		
	建設業		—					—		
	運輸業		—					—		

減少悪化 ← → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI 値を基に判断したものです。
DI 値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【菓子】もち米が値上がりしているため、餅等は販売価格を上げる予定。</p> <p>【製麺】販売数量の微減、経費の増加、従業員確保難等状況は変わらず。プライベートブランド等の安価な製品の出回りも変わらずであり、厳しい状況が続いている。</p>
織 維 製 品	<p>【繊維（桐生）】東京で展示会が行われ、来客数は増加したが、景況悪化を受けて会場販売は低調だった。ただ、夏と比較すると動きが出てきた印象。一方、広幅（婦人服地）関連はアパレル市場の川下の景況が極端に悪く、受注減が顕著となっている。</p> <p>【繊維（伊勢崎）】広幅織物（インテリア）は、展示会出展による今後の売上増に期待している。</p> <p>【刺繍】原材料費の高騰や刺繍職人（熟練技術者）の減少が課題。価格競争や大量生産の波にのまれやすく、刺繍本来の価値をどう伝え、維持するかが問われている。</p>
窯業・土石	<p>【コンクリートブロック】原材料の骨材の値上げ告知があり、来年度の粗利確保への影響が大きいことから、改訂金額と時期の交渉を慎重に進める必要性を感じている。</p> <p>【生コンクリート】出荷量について、中央地区はじめ多くの地区で減少したが、出荷量の多くを占める東毛地区や西毛地区、藤岡地区で大幅に増加したため、全体では増加となった。</p> <p>【碎石】売上高は、西毛地区では販売価格の上昇に伴い、若干の増加となったが、渋川地区は不変、他の3地域では減少。業界の景況も吾妻地域は不変だが、他の地域は悪化した。</p>
機械・金属	<p>【機械金属（高崎）】組合員の業況について、自動車関係は落ち込みが大きく回復の目途は立っていない状況。受注確保に向け、新規開拓も含めて様々な営業をかけている様子。</p> <p>【機械金属（富岡）】最低賃金の上昇と賃上げの対応は、価格転嫁が順調に進まない中で経営を圧迫するとの意見が聞こえる。特に3次・4次の中小受託事業者からの声が多い。</p> <p>【半導体関連】売上高は前月比減少。AI向けが需要をけん引する中、車載やパワー半導体の落ち込みが影響しており、年内は今の状態が続く見通し。</p>
そ の 他	<p>【家具】引き続き市場環境は厳しい状況が続く。住宅着工件数の動向に対して、半年から8ヵ月程度遅れて影響が出ると言われているため、年明け以降の改善と見込んでいる。</p> <p>【紙製品】物価上昇に伴い、化粧箱や段ボールケースの消費量に影響。製造機械の老朽化に伴う更新やDX化の波が来ており、設備投資が出来ないと製造に支障をきたすと感じている。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【食品加工卸売業】外国産原材料を使用しているが、価格は円安により徐々に高騰。国内産原材料も高騰しており、値上げが追い付かない。円安で特定技能外国人が他国に行きたいと退職するケースが発生しており、少子化もあることから機械化が急務と考えている。</p>
小 売 業	<p>【家電】年末需要期に向けての準備を進めており、12月に多くの組合員店舗で実施されるイベントに期待を寄せている。</p> <p>【石油】ガソリン・石油の暫定税率廃止の決定と段階的な補助金増額に伴い、各組合員は店頭販売価格の見直しを実施。しかし、高い価格で仕入れた在庫が多く残っている中、周囲の販売価格低下状況から値下げせざるを得ず、厳しい収益状況となっている。</p>
商 店 街	<p>【沼田市】通りを歩行者天国とし、えびす講大売出しを実施。露店、キッチンカーともに前年を上回る出店があり、過去最高の人出となり、大変な賑わいをみせた。</p> <p>【高崎市】キングオブパスタやえびす講市など、毎週末イベントが行われ、街中も賑わった。</p> <p>【藤岡市】諸物価高騰の影響もあり、秋冬の季節商品の動きは今年も鈍い。</p>
サービス業	<p>【草津温泉】連休や土曜の多さに加えて、平日の稼働率が高く、宿泊客数・売上ともに増加。大型ホテル建設に伴い工事関係者の低単価宿泊施設利用が多かった。</p> <p>【美容】インフルエンザの流行により、学級・学校閉鎖が急増し、美容室では予約件数の減少やキャンセルが見られたほか、従業員が感染し休業する店舗もあった。</p> <p>【不動産取引】物価高や人手不足による人件費の高騰、建築基準法の法改正等もあり、建売住宅の価格は高騰。特に郊外の建売住宅は販売の長期化や完成在庫が目立つ。</p>
建 設 業	<p>【建設】公共工事では、当初設計からの再設計や工法見直しによる工期延期が多く発生。資機材高騰で経営が悪化しており、公共事業における実勢価格への迅速な反映が必要。</p> <p>【電気工事】県内市町村でカメラ付き防犯灯への取替工事が急増。工期が年度末の3月までと短いため、対応に苦慮しており、発注する市町村へは年度初めの発注をお願いしている。</p> <p>【砂利採取】出荷量は前年同月比約95%で推移、生産量は約90%で推移した。価格は上昇しているが、物価上昇分、運賃値上げ分までは吸収出来ていない。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】ガソリンの暫定税率廃止の決定による燃料価格の下落は収益改善に繋がる期待があるものの、運賃改定は交渉が一段落してしまったのか低調な様子であり、運賃交渉時の引き下げの要因になりかねないとして警戒する動きもみられる。</p> <p>【貨物軽自動車運送】スポットの依頼が昨年同時期比でマイナス。食品関係が特に減少。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。